

Imarion, Inc.

(トロント、カナダ)

www.imarion.com

ユーザー事例

Autodesk® Smoke®
Autodesk® Lustre®

最初から好感度が抜群でした。Smoke を導入した途端に、これまで不可能だった仕事が可能になったのです。

—Imarion 社

社長

Alex Olegnowicz 氏

Getting better, all the time.

—最高の品質を求めつづける—

ジェームス・キャメロンや

あらゆるクリエイターを満足させる

Autodesk Smoke と Autodesk Lustre を活用



Image courtesy of Imarion Inc.

概要

Alex Olegnowicz 氏がメキシコシティからカナダのトロントに進出した頃、デジタル編集・エフェクトシステムはまだ供給不足の時代でした。同氏は 1995 年に Imarion (イーマリオン) 社を設立し、Adobe® Premiere® や Avid Xpress® NT など、同氏が現在では“ローエンド”システムと呼ぶソフトウェアを装備しました。たとえシステムがローエンドでも、質の高い作品を創造し続けたのです。数々のプロジェクトでの成功により、システムのアップグレードが実現し、1998 年にはオンライン編集サービスも提供するようになりました。

それから 10 年以上経った今も同社は成長を続けています。最近では、ジェームズ・キャメロンがエグゼクティブ・プロデューサーを務め、論争を呼んだディスカバリー・チャンネルのドキュメンタリー「キリストの棺」(監督：シムチャ・ジャコボヴィッチ)、CBS、PBS の圧倒的なドキュメンタリー「Sex Slaves」を手掛けたほか、独立系長編映画やコマーシャルのプロジェクトも増えています。2003 年、Imarion 社は 2 台の Autodesk® Smoke® を導入し、昨年は最高品質のカラーコレクションを提供するため Autodesk® Lustre® を追加導入しました。

セットアップ

「HD のオンラインプロジェクトの依頼が増え始めたのは 2000 年頃でした」と Olegnowicz 氏は語ります。「設備を変更する必要に迫られていましたが、時間をかけてあらゆるシステムを評価しました。最終的に Smoke HD を選択したのは、それが最も優れたシステムだったからです。評価するのはなかなか大変な作業でしたが、Smoke HD は最初から好感度が抜群でした。Smoke を導入した途端に、他のどのシステムでもできなかった仕事が可能になったのです。Smoke のおかげで強力なレンダリングや高速で最先端のカラーコレクションが実現し、オンラインシステム上でビジュアルエフェクトを直接作成できるようになりました。2 台目のシステム購入を決断するまで、時間はかかりませんでした。以前は連携作業が難しいこともありましたが、今では作業がスムーズに進むようになっています。」

Autodesk®

「Autodesk Smoke のおかげで強力なレンダリングや高速で最先端の編集が実現し、オンラインシステム上でビジュアルエフェクトを直接作成できるようになりました。2 台目のシステム購入を決断するまで、時間はかかりませんでした。」

Autodesk Smoke が進化を続けているとすれば、それは Olegnowicz 氏や Imarion 社のような要求が高いユーザの存在のおかげです。Imarion 社は収益を拡大し続け、次々と舞い込むプロジェクトは規模も注目度も年々大きくなっています。Imarion 社の Smoke システムは今のところ同社の成長に追いついていると Olegnowicz 氏は認めてくれました。

「幸運なことに、弊社が忙しくなり始めた頃、Autodesk が Linux 用の Smoke HD を発表しました。間もなく、Autodesk Flame の最高の機能の大部分が Smoke に統合されるようになり、われわれは非常に助かっています。Smoke では、AAF や XML などの EDL 以外のフォーマットも読み込めるので、他のさまざまなシステムからプロジェクトを取り込むことができます。XML との統合は特に素晴らしく、このビジネスにおいては計り知れない利点です。」

Imarion 社は 2007 年後半から高性能カラーグレーディングシステム Autodesk Lustre を使ってカラーグレーディングを開始しましたが、Olegnowicz 氏はその成果に感銘を受けています。

「われわれは市場の変化に気づいていました。クライアントはカラーコレクションに一層の柔軟性を求めています。高尚なドキュメンタリー番組や独立系映画では特にその傾向が強かったです。弊社にとっては新しく非常に有望な市場であり、Smoke と Lustre の統合が力を発揮する分野です。」

挑戦:『OneXOne』と『キリストの棺』

「独立系映画会社の多くはテープワークフローや HD の必要性から、16 ミリや 35 ミリでの撮影を止めています」と Olegnowicz 氏は続けます。「Smoke と Lustre があると、全ての映像を Smoke に直接取り込んだあと、Lustre にシームレスに転送してグレーディングできます。最近、俳優のマット・デイモンが司会を務め



Image courtesy of Imarion Inc.

るカナダのネットワーク CTV のチャリティイベント「OneXOne」の仕事をしました。緻密なカラーコレクションが要求されたこのプロジェクトは、Smoke を使って完成させました。」

最新のプロジェクトは「OneXOne」ですが、Imarion 社にとって最大のプロジェクトといえば、ジェームズ・キャメロン製作のドキュメンタリー「キリストの棺」が挙げられます。イエス・キリストとその家族が葬られていた可能性のある墓が発見され、その謎を解明するというドキュメンタリー番組です。世界中で撮影が敢行され、多様なフォーマットが使用されました。

「PAL、24p、25p、23.98、59.94 など、ありとあらゆるフォーマットを扱いました。すべてのフォーマットをデジタル化し、タイムラインに取り込んで作業できるシステムは Smoke しかありません。Smoke はさまざまなフレームレートを再生できるので、この仕事に最適のツールでした。必要なツールはすべて揃っていて、タイムラインの中で直接合成も処理できました。信じられないほど手軽にできたのです。」

成果

Imarion 社では独立系映画への関心を高めており、今後は特にテープレスカメラを使った仕事に取り組む予定です。Olegnowicz 氏は Autodesk Lustre を大いに活用できると考えています。

「これまで 3 本の独立系映画に関わってきました。具体的には言いにくいのですが、独立系映画のプロジェクトは性質も題材も他の分野とはかなり異なります。「Teddy Bear」は連続殺人犯の登場する独立系長編映画、「Fire & Fury」は映像のとても美しい短編映画、「The Limits」は Lustre でグレーディングしたドラマでした。3 作とも Smoke でコンフォームし、Lustre でカラーコレクションを行ってから、簡単に Smoke にレンダーバックしました。特に「The Limits」では、ロケーションごとに多様な質感を出す必要があったのですが、Smoke のストレージに格納された映像を Lustre でリアルタイムで再生できるのは、本当に素晴らしいです。再キャプチャの必要がないことが、このワークフローの大きな利点です。」



Image courtesy of Imarion Inc.

Smoke のストレージに格納された映像を Lustre でリアルタイムで再生できるのは、本当に素晴らしいです。再キャプチャの必要がないことが、このワークフローの大きな利点です。

— Imarion 社
社長
Alex Olegnowicz 氏

Autodesk、Flame、Lustre、ならびに Smoke は、米国またはその他の国における Autodesk, Inc./ Autodesk Canada Co. の登録商標または商標です。その他記載のブランド名、製品名、商標は、それぞれの所有者に帰属します。© 2008 Autodesk, Inc. All rights reserved.